

公共政策研究科公共政策学専攻公共マネジメントコースカリキュラムマップ

【博士後期課程】

博士後期課程のディプロマポリシーは、以下の通りである。

(1) 現代社会を取り巻く諸問題を、例えば法学、行政学、経済学、経営学、社会学、自然科学などの高度な手法によって分析することができる。

(2) 特定の研究課題に領域横断的・統合的なアプローチを適用し、課題解決のための具体的で適切な政策を立案するなど、より高度な学問的・実践的な提言ができる。

(3) 行政部門、企業部門、国際機関、市民組織などの各分野において、より高度な実務能力をもって研究内容を現場の課題解決に生かすことができる。

それぞれ、(1)は高度な学問的分析力、(2)は分野横断的応用力、(3)は具体的適用力、と呼ぶことができるであろう。これをそれぞれDP1、DP2、DP3とする。

博士後期課程で開設されている科目は以下のものだけであるが、博士後期課程の院生も自主的な研究計画に基づいて修士課程の科目を履修してかまわない。その際には、上の修士課程のカリキュラムマップを参考にすることができる。博士後期課程のDP1は修士課程のDP1及びDP2をより高度にしたもの、同様に、DP2は修士課程のDP3を、DP3は修士課程のDP4を、それぞれ高度にしたもの、と考えてよい。

科目	DP1	DP2	DP3
地方自治特殊研究		○	○
政策過程特殊研究		○	○
行政学特殊研究		○	○
行政学事例特殊研究	○	○	
都市政策特殊研究		○	○
都市政策事例特殊研究		○	○
コミュニティ政策特殊研究	○	○	○
コミュニティ構造特殊研究	○	○	○
【研究指導科目】			
公共政策学特殊研究1A・B/2A・B/3A・B (各2)	○	○	○
博士論文	○	○	○